



飯高

ジャーナル

Iiko Journal

長野県飯山高等学校

令和元年 7月号 (R1.7.24)

通算 40号



第101回全国高校野球選手権長野大会

夢の舞台「甲子園」へ 決勝で伊那弥生ヶ丘に延長サヨナラで勝利

『雪国から甲子園へ』をスローガンに取り組んできた野球部が夢の切符を手に入れました。7/6(土)に開幕した第101回全国高校野球選手権長野大会で、本校は2回戦で諏訪二葉、3回戦で第2シードの都市大塩尻に勝利すると、4回戦で上田、準々決勝で岡谷南を撃破、準決勝では第3シードで優勝大本命といわれた上田西に快勝、創部以来初めて決勝に駒をすすめました。

7/21(日)の決勝戦は伊那弥生ヶ丘との公立校同士の対戦となりました。序盤を優勢にすすめながら6回に同点に迫られると、毎回ピンチの連続。しかし10回裏二死一・三塁から常田投手がサヨナラ打を放ち苦しい戦いに勝利、初の優勝に輝きました。会場となった松本市野球場には、吹奏楽部や一般生徒・保護者が大勢応援に駆けつけ、歓喜の瞬間をわかちあいました。

夕方には学校の校舎前で優勝報告会が行われ、足立飯山市長をはじめ、生徒や野球部OB・市民の方々など約300名が出迎え、優勝旗や楯・賞状を手にした部員らがバスから降りると盛大な歓声と拍手がわきおこりました。大川主将は「甲子園でも自分たちらしい楽しい野球をして飯山高校の名を響かせたい」と決意を込めてあいさつをしました。また翌日には全校生徒に対して優勝報告会が行われ、夢を実現した野球部に大きな声援と拍手が送られました。



▲優勝の歓喜に沸く飯高ナイン

優勝への軌跡	
■決勝	
伊那弥生丘	001 003 000 0 4
飯山	201 010 000 1 5
■準決勝	
飯山	010 100 010 3
上田西	000 000 000 0
■準々決勝	
飯山	003 200 100 6
岡谷南	000 000 000 0
■4回戦	
飯山	420 14 11
上田	000 00 0
■3回戦	
飯山	200 002 000 4
都市大塩尻	100 000 100 2
■2回戦	
飯山	002 120 200 7
諏訪二葉	000 100 000 1



▲優勝を喜ぶ吹奏楽部員



▲大勢の生徒・市民が出迎えるなか選手たちが凱旋帰校
◀甲子園出場を報じるスポーツ新聞校舎4Fから飾られたお祝いの垂れ幕▶



▲全校生徒の前で優勝を報告

第4回 飯高祭に約2,800名来校

7/5(金)~7/7(日)、「灰になるまでHighになれ!!」をテーマに掲げた第4回飯高祭が開催され、昨年を上回る約2,800名の皆様に来校していただきました。初日は合唱祭・体育祭が行われ、合唱祭では講師の先生方から「これだけの合唱ができるのは素晴らしい」と高い評価をいただきました。体育祭では、クラス対抗の大縄跳び・借り物競争といった競技に加えて、今年は部活対抗リレーが行われ、陸上部が優勝しました。2日目午前にはパレマス(パレード&マスコット)がおこわれ、市内本町まで仮装パレードをしたのち、大体育館でパフォーマンスを行い、つめかけた観客からも大きな拍手が送られていました。2日目の午後から3日目にかけては一般公開となり、お化け屋敷や脱出ゲームなどのアトラクション系のクラス展に長蛇の列が作られました。また最終日の後夜祭では、ファイヤーストームが復活し、フォークダンスもおこなわれました。



▲ファイヤーストームを囲んでフォークダンス



▲体育祭…部活対抗リレー



▲創意工夫あふれるクラス展



▲合唱祭…最優秀賞:3の4「予感」

リサイクルアート展・高校生の部で最優秀賞

～美術部・大久保智詞くん、作品:「新しい自分へ」～

7/8(月)、札幌市で開かれた「リサイクルアート展2019」で美術部の大久保智詞くん(1年)が高校生の部で最優秀賞を受賞しました。「新しい自分へ～アタラシイジブンへ～」と題した作品は、中学生から高校生に変わる自分を「リサイクル」に重ね合わせたもの。中学生の自分を古い段ボールで、高校生の自分を広告で製作し、躍動する生命感などがよく表現されていると高い評価を受けました。



1・2年スポ科で「キャンプ・登山実習」

7/10(水)~12(金)、スポ科1・2年生の「キャンプ・登山実習」が2泊3日の日程で笹ヶ峰キャンプ場(妙高市)を中心に行われました(「臨海実習」と隔年で実施)。初日はテント設営・ウォークラリー、2日目は火打山登山・キャンプファイヤー、3日目は野外実習として「妙高アドベンチャープログラム」(自然課題解決活動)といったメニューを仲間と協力しながらこなし、様々な技術を習得し、貴重な体験をしました。



▲火打山(2462m)を制覇